

- ▶ 奈半利町では、森林環境譲与税の創設を契機に、高知県東部森林組合、公益財団法人黒潮生物研究所、(社)高知県山林協会等と連携して、木材利用や普及啓発活動を通じた住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでいく方針。
- ▶ 令和6年度においては、以下の取組により普及啓発活動を行った。
 - ・こども園の年長組を対象とし、体験を通じて木材利用について学び、小学校6年間を通じて自分で製作した机を使用することで木材への親しみを感じてもらう。
- 町内の小学生4～6年生を対象に、サンゴの移植体験を実施。体験を通じて地域の川や海の環境に森林が大きく関わっていることを学ぶ。
- ▶ 令和7年度においては、令和6年度に引き続き上記事業を予定しており、令和4年度まで行っていた中学生を対象とした木の楽器作りは授業日数等の関係で現在検討中。

事業内容

木材普及活動

- ・子ども園年長組を対象に、地元産材を用いた木の机製作事業を実施。
- ・町内の小学生を対象に、海辺の生物についての座学とサンゴの移植体験を実施。

【事業費】2,826千円（全額譲与税）

木の机づくり体験・・・1,760千円

サンゴの移植体験・・・1,066千円

【実績】木の机づくり体験・・・15人(間伐、加工、組立 計3回)

サンゴの移植体験・・・4年生17人,5年生18人,6年生18人
3学年 合計53人



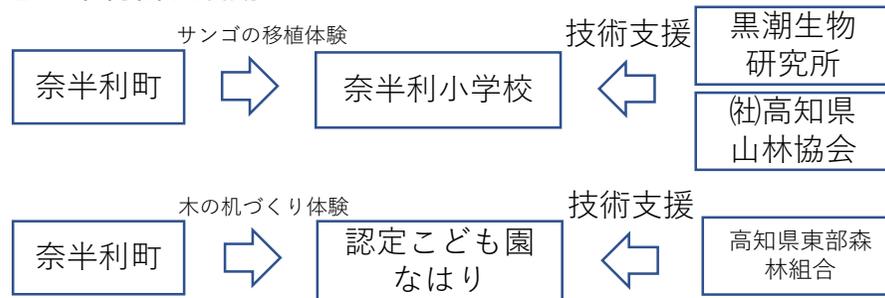
(木の机作り体験)



(サンゴの移植体験の様子)

事業スキーム

1 木材普及活動



工夫・留意した点

- ・サンゴの移植体験は座学を行ったのちに海辺での清掃活動等を行い、理解を深めながら体験を行えるよう配慮した。
- ・体験を通じて学習を行うことで、より関心を持ってもらえるように事業を行った。

基礎データ

①令和6年度譲与額：3,470千円	②私有林人工林面積（※1）：418ha	
③林野率（※1）：74.7%	④人口（※2）：3034人	⑤林業就業者数（※2）：47人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より